

7月23日(金曜日)
ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

欧州ストレステストに対する反応は？

22日(木)の主な推移



期間：22日(木)午前6時～23日(金)午前6時
※チャートは30分足 日本時間にて表示
出所：外為どっとコム

- ① 前日の議会証言で米連邦準備制度理事会(FRB)のバーナンキ議長が「米経済の見通しは異例に不透明」などと発言した事を受けてNYダウ平均株価が下落し、リスク回避の円高が進んだ流れを引き継いで22日のアジア時間でもユーロ/円や豪ドル/円はじり安が続き、15時過ぎにはユーロ/円が110.00円、豪ドル/円が75.53円の安値を付けた。
- ② 7月のユーロ圏製造業(56.5)とサービス業のPMI(56.0)がそれぞれ予想を上回り、その後発表された5月のユーロ圏鉱工業新規受注も前月比+3.8%と予想を大きく上回った。これを受けて欧州株や時間外のNYダウ先物が上げ幅を拡大すると、ドルや円を売ってユーロや豪ドルを買う動きが強まった。原油先物価格の上昇もユーロや豪ドルの上昇を支援した。
- ③ 米建機大手キャタピラーや化学大手スリーエムなどが相次いで第2四半期の好決算を発表した事や、米6月中古住宅販売件数(537万戸)が予想ほど減少しなかった事を受けて、NYダウ平均株価が200ドル以上の値上がりとなると、リスクを積極的に取る機運が高まり、ドルや円を売ってユーロや豪ドルを買う動きが加速した。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスクの緩和(ユーロ上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスク(ユーロ下落要因)

豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

本日の見通し

本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.2730-1.3080ドル
ユーロ/円 : 110.90-113.70円

本日の予想レンジ

豪ドル/円: 76.70-79.00円

本日は欧州のストレステスト(健全性審査)の結果が発表される。日本時間午前1時ごろから相次いで発表される見込みで、欧州金融システムに対する懸念を払拭できる結果となるのかどうか注目される。これまでの報道などから、大手金融機関はストレステストをパス出来る見込となっているが、査定の甘さを指摘する声も多く、ユーロの一段の上昇につながるかどうかは不透明な状況だ。結果発表前にポジション調整の動きがあるとすれば、7月に入り大きく上昇しているだけに、ユーロ売りとなる可能性が高そうだ。(神田)

昨日のNYダウ平均株価の上昇を受けて、日経平均株価も上昇が予想されるものの、欧州のストレステストの結果を見極めたいとするムードが強まりそうで、豪ドル/円が大きく上値を追う展開とはなりにくそうだ。ストレステストの結果を受けて、欧州金融システムに対する懸念が払拭できるのか、またテストの結果を受けての欧米株式市場の動向が豪ドル/円相場のカギを握る事になるだろう。(神田)

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
7/23(金)	17:00	○	(独) 7月 IFO 景況指数	101.8	101.5
	17:30		(英) 第2四半期 GDP・速報値 [前期比]	+0.3%	+0.6%
	20:00		(加) 6月消費者物価指数 [前年比]	+1.4%	+1.0%
	未定	○	(米) マクドナルド第2四半期決算	—	—
	20:00	○	(米) フォード・モーター第2四半期決算	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com